

第一次世界大戦

第一次世界大戦開始(1914)
大戦の関係図を描いてみましょう。

二十一ヶ条の要求 提出(1915)

第一号 山東省のドイツ利権の継承

第二号 南満州(旅順・大連)及び東部内蒙古の租借期限の99年延長

第三号 漢冶ヒョウ公司(カンヤヒョウコンス)(製鉄会社)の日中合併

第四号 福建省の不割譲

第五号 中国政府に日本人顧問採用



最後通牒を突きつけ、第五号以外を受諾させる。(中国:5月9日=国恥記念日)



ロシア革命 起こる



ドイツ、革命により帝政崩壊。1919年11月休戦協定締結→第一次世界大戦終結

寺内正毅内閣 陸軍・長州閥、超然内閣

1917年

中国 段キ瑞政府に多額の西原借款供与

石井・ランシング協定 締結(日本代表 石井菊次郎)

日本の中国進出

中国の門戸開放・機会均等を確認。日本の特殊権益を承認

ロシア革命勃発→最初の社会主義政権成立→ソヴィエト連邦

1918年

シベリア出兵 開始(1918~22 寺内正毅~加藤友三郎)

目的 チェコスロヴァキア軍救援のため。実際はロシア革命の干渉

経過 日・米・英・仏 出兵 → 1920年列強撤兵。日本軍のみ残留

→ 尼港事件(日本軍vsパルチザン) → 1922年、日本軍撤兵

影響 戦費10億円、3000人の死者、2万人の負傷者

列強の日本への警戒心が強まる

シベリア出兵を見越した米の買い占め→米価高騰→米騒動

→契機・富山県の漁村の女

性

・女一揆と報道された。